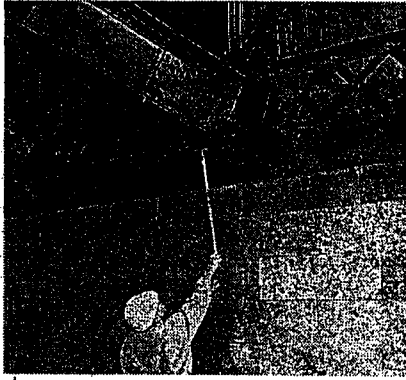


コンクリ橋 寿命100年に

東京都は都道のコンクリート製などの橋の長寿命化で、橋脚やげたのコンクリ内部や鉄筋の状況を把握する非破壊検査を本格導入する。予防保全型の管理を徹底、早めの補修で崩落などの事故を未然に防ぐ。現在、五十年前後としているコンクリ橋の寿命を百年程度に伸ばすのが目標。長寿命化で建設費用の節約や環境保全を図る。



これまで橋の検査は目視や打音に頼っていた
(東京都内)

都、非破壊検査を本格導入

早めの補修で 架け替え減らす

都は超音波などを使
い、構造物を壊さずコン
クリート内部や鉄筋の状
況などを検査する非破壊
検査を積極的に取り入れ
る。一九八七年度から五
年に一度の割合で順次橋
を検査している。現在は
主に外観の目視や、たた
いて音を確認するだけに
とまっていた。

非破壊検査により架け
替えが必要な橋と修繕で
維持できる橋にしゅん別
する。修繕対象の橋は必
要な補修をしながら長寿
命化を図る。架け替える
橋を減らして費用を節約。
廃棄物も減るので地

球環境の保全にも役立つ
としている。

三十日、有識者による
橋の長寿命化に関する検
討委員会を発足させた。
今年度中に具体的な計画

をまとめる。

都建設局が管理する道
路橋は約千二百カ所。こ
のうち、一九六四年に開
催された東京オリンピック
以降の高度経済成長期
につくられた橋が約六百
カ所ある。建設から間も
なく五十年を迎え、架け
替えなど再整備の必要性
が生じている。

橋の架け替えでは、工
事中も通行確保のため仮
橋が必要となる。仮橋の
建設や付け替え道路の用
地取得には橋の新設に比
べ二・七倍程度の事業費

がかかる。とされる。

都は橋や学校など大規
模な公共工事に備えて、
「貯金」である社会資本
等整備基金を二〇〇八年
度末で三千九百八十二億
円の残高を確保する方
針。ただ、架け替え対象
となる橋の事業費の合計
は基金残高を上回ると見
られている。財政負担の
軽減から予防保全型の管
理の必要性が指摘されて
いた。

道路橋では〇七年八月
に米ミネソタ州ミネアポ
リスで高速道路の橋が崩

落し、死傷者を出す事故
が発生。国内でもコンク
リート片の落下や鋼材の
破断など一歩間違えば大
事故につながる可能性が
ある事態が起きている。